

# 令和2年度の事業計画

長崎祈念館 1頁～5頁

## 長崎祈念館の事業計画

### 1. 企画展の開催【資料2、P2参照】

- 引き続き、テーマを定め、祈念館が収集所蔵する被爆体験記などの中からテーマに沿ったものを選び、遺影・手記閲覧室等で企画展を開催したい。
- 被爆75周年企画として、7月下旬～8月中旬頃に、追悼をテーマに多角的な視野で原爆の実相を伝えたい。
- (1) 被爆体験記企画展
  - ①タイトル未定（令和2年7月下旬～8月中旬予定）

### 2. 被爆体験記執筆補助【資料2、P2、P3参照】

- 引き続き、体験記の執筆が困難な被爆者を対象として、職員が聞き取りと代筆を行ない、館内の手記・体験記閲覧室で公開したい。
  - 昨年度は長崎市原爆被爆対策部の協力を得て、実施したところ、多くの収集ができたため、今年度は長崎県原爆被爆者援護課の協力を得て、長崎市を除く県内6,000人の被爆者の方に、体験記寄贈ならびに執筆補助、証言映像への協力依頼の呼びかけを実施したい。
- 聞き取り予定人数：20人

### 3. 被爆者証言映像（国内・国外）の制作【資料2、P3参照】

- 引き続き、被爆者団体等の協力を得て、国内及び国外で被爆者証言映像を収録し、館内の手記・体験記閲覧室で公開したい。
  - 広島祈念館と連携し、長崎被爆者について関西地方での収録を行いたい。
  - 昨年同様、在韓国被爆者について、韓国赤十字社に協力を依頼し、制作目的の適切な理解のもとで円滑に収録を行うため、当館の韓国・朝鮮語ネイティブ職員の同行を行なう。
  - 国外はこれまで、北中南米での収録を行ってきたが、他地域（欧州など）でも収録したい。
  - (1) 収録数：九州地方在住被爆者5人程度、関西地方在住の被爆者5人程度（国内）  
韓国在住の被爆者5人程度、北中南米地域3人程度、欧州地域1人程度（国外）
  - (2) 収録者：被爆者団体等からの推薦、又は現地調査に基づき、収録者を確保する。
- 被爆者が高齢化し被爆者による被爆体験講話が難しくなっている。そのため、実際にその場に被爆者がいるかのように受け答えのできる伝え方を検討している。引き続き、被爆者の映像録画等を実施したい。

#### **4. 被ばく医療情報の提供【資料2、P3、P4参照】**

○引き続き、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の協力のもと、被爆者を対象とした被爆者健康講話を実施したい。今年度は、祈念館で実施した講話を録画したものを編集し、ケーブルメディアなどを利用し、五島市や他の地域に配信したい。また、DVDの貸し出し等も実施したい。

開催回数：年10回予定

○引き続き、平和情報コーナー1において、開館20周年に向けて、展示の在り方について検討をしたい。

#### **5. 海外原爆展【資料2、P5参照】**

世界的に核廃絶の機運が高まりを見せるなか、さらなる機運醸成のため引き続き実施することとしたい。現在、次のとおり候補地と調整を行っている。

##### **【令和2年度海外原爆展開催候補】**

候補地	ライデン市（オランダ王国）
候補地選定の経緯	① 長崎市とライデン市は姉妹都市提携を結んでおり、長崎に対する理解が深く、かつ被爆75周年にあたる2020年に原爆展を開催することで理解が得られやすいと考えられる。 ② 核保有国が存在するヨーロッパで開催することで、核廃絶への機運を高めていくことができると考えられる。
概要	① ライデン市（人口約12万人） 展示などを行う場所として、日本博物館シーボルトハウスを考えている。 ② シーボルトハウスでは、独自企画として、同時期に、長崎原爆資料館と広島平和記念資料館の収蔵品も展示する予定。
開催時期	2020年7月16日（木）～11月8日（日）当初予定 ※新型コロナウイルスの影響で、シーボルトハウスが現在休館中であり、変更を余儀なくされているが、開催時期の見通しがつかない状況である。

#### **6. 被爆者証言映像、手記・体験記の多言語化【資料2、P6参照】**

○被爆の実相と被爆者の声を広く世界に発信するため、引き続き、英語、韓国・朝鮮語、中国語を中心として多言語化（翻訳・吹替え・字幕）を実施したい。

○広島市・長崎市が企画実施するヒロナガ原爆展で配布するための資料として、開催地の言語（英語）で被爆体験記を提供したい。

#### **7. 平和ボランティア育成外国語講座【資料2、P7参照】**

○引き続き、中国語・韓国語の中級講座を開講することで、新規受講生を開拓し、外国語ボランティアの新規開拓につなげたい。

#### **8. 被爆体験記の朗読事業【資料2、P7参照】**

○引き続き、館内での定期・随時の朗読会開催及び市内小中学校等への派遣、来館者を対象とした館内での朗読を実施するとともに、厚労省収集の体験記を読み込み朗読の素材

の開拓（編集作業も含む）を進めたい。

○派遣事業での派遣が増加していることから、派遣朗読会のプログラム作成を継続したい。

○ホームページ上で、朗読の様子動画を掲載するなどPRにも励みたい。

○被爆75周年企画として、被爆体験記の朗読に取り組んでいる女優をゲストに招き、朗読指導交流会を実施したい。

(1) 館内朗読会：3回程度（祈念館交流ラウンジ等、国際平和祈念祭も含む）

(2) 派遣朗読会：長崎市内外において、学校や一般の依頼に基づき、派遣して朗読会を開催する。

(3) 常駐朗読会：①毎週土・日13:00～16:00（5～11月には火・水・木も実施）

祈念館手記閲覧室にて実施

②毎月9日11:00～11:30「9日を忘れない」を原爆資料館「いこいの広場」にて実施

## **9. 家族・交流証言者等の派遣および語学研修の実施**

○引き続き、長崎市が養成している家族・交流証言者を、国内、国外へ派遣を行いたい。

上記の被爆体験記の朗読ボランティアも同様に派遣したい。

今年度からは、被爆者ご本人の国内外への派遣にも取り組みたい。

○また、国外への派遣に伴い、英語ネイティブによる語学研修を実施し、スキルアップを図りたい。さらに海外からの来館者に対して英語で実施できるよう、同様に語学研修を実施したい。

○円滑な派遣を実施するために、インターネットによる派遣申込システムを構築したい。

(1) 国内での派遣申込数：41件（令和2年4月29日現在）

※都道府県別数は別紙のとおり。

## **10. ピースネット事業の実施【資料2、P10参照】**

○被爆者の高齢化が進むなか、長崎に居ながら遠隔地に被爆者の声を届けることができるインターネット会議システムの特徴を生かし、引き続き、北海道や東北地方などの長崎に来ることが難しい遠隔地の学校等を中心に、海外の大学や海外原爆展のネットワークを通じて海外の都市とも積極的に実施していきたい。

○引き続き、ピースネットを用いた市外・海外の小中学校と長崎市内の小中学校の平和交流を実施したい。

また、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、時期的（6月～7月）に被爆者を派遣できない、長崎市内外や長崎県内の平和学習にも利用してもらいたい。

(1) 国内：40か所程度（長崎市内外・県内：20か所程度、県外20か所程度）

(2) 海外：5か所程度

## **11. 国際協力・交流プログラム、国際平和祈念祭（仮称）の実施【資料2、P11参照】**

○引き続き、国際的な平和ネットワークの構築を目的として、おもにアジアの学生など

を招へいして行う国際協力・交流プログラムを実施したい。メインプログラムとして、昨年度実施した「Youth Conference in Nagasaki」を、今年度は被爆 75 周年企画として、長崎市などと連携し、さらに多くの若者らが参加する会議として実施したい。

○若い世代への被爆体験の継承を目的として、映画や写真展、朗読ボランティアによる被爆体験記朗読など、市民が参加できるイベントを企画し、組み合わせて行う長崎国際平和祈念祭「Nagasaki Love&Peace Message」を実施したい。

(1) 国際協力・交流プログラム

開催時期：令和3年2月頃を予定

参加者：マレーシア、韓国、中国、ベトナムおよび国内の留学生などを招聘したい。

(2) 長崎国際平和祈念祭「Nagasaki Love&Peace Message」

開催時期：令和2年12月頃を予定

内容：映画上映、音楽演奏、写真展、朗読ボランティアによる朗読等

## 12. 施設修繕事業

○昨年度実施した、中長期保全計画を基に修繕等をすすめていきたい。

○祈念館開館 20 周年に向けての展示内容等を検討したい。

これらの事業の実施にあたり、新型コロナウイルスの影響により、実施が困難な場合は、実施規模の縮小や時期の変更等できる限りの調整を行っていきたい。

以上

## 都道府県別申込状況

2020/4/29 現在

41 件 内訳

(内訳)

	都道府県名	件数	家族・交流証言講話	被爆体験記朗読会	被爆体験講話
1	北海道	3	3		
2	青森県	0			
3	岩手県	0			
4	宮城県	0			
5	秋田県	1			1
6	山形県	0			
7	福島県	0			
8	茨城県	0			
9	栃木県	1	1		
10	群馬県	0			
11	埼玉県	0			
12	千葉県	1	1		
13	東京都	2	2		
14	神奈川県	0			
15	新潟県	1	1		
16	富山県	0			
17	石川県	0			
18	福井県	0			
19	山梨県	0			
20	長野県	1			1
21	岐阜県	1	1		
22	静岡県	2		2	
23	愛知県	3	3		
24	三重県	1	1		
25	滋賀県	1	1		
26	京都府	1	1		
27	大阪府	5	5		
28	兵庫県	1	1		
29	奈良県	0			
30	和歌山県	0			
31	鳥取県	0			
32	島根県	0			
33	岡山県	1	1		
34	広島県	0			
35	山口県	0			
36	徳島県	0			
37	香川県	0			
38	愛媛県	0			
39	高知県	0			
40	福岡県	1		1	
41	佐賀県	2		2	
42	長崎県	10	3	7	
43	熊本県	0			
44	大分県	0			
45	宮崎県	0			
46	鹿児島県	2	1	1	
47	沖縄県	0			
48	海外	0			
	計	41	26	13	2